古石ひでさと4期目に向かっての議会活動

古石 ひでさと 後援会だより

URL：http://古石.com/

第　3746号
発行令和3年7月
古石　ひでさと後援会事務所
岩見沢市幌向南1条1丁目
TEL　26-2226

市政についてご提案、ご意見などがありましたらお聞かせください。

E-mail-furuishi@gray-plala.or.jp

東高削減問題で道教委説明に地元では異論

道教委説明に異論

岩東学級減　関係者ら連絡会議

道教委の担当者が岩見沢東高の学級減方針を説明した市高校適正配置連絡会議

【岩見沢】道教委の公立高校配置計画案で、岩見沢東高の全日制普通科が2024年度に1学級減となったことを受け、市内の学校関係者らでつくる市高校適正配置連絡会議が5日、市教委で開かれ、道教委から説明を受けた。委員から「削減は性急すぎる」などの異論が相次いだ。

会議で道教委は、24年の空知南学区の中卒者が前年より109人減る見通しに加え、本年度は岩見沢市内の全高校の入学者が定員を65人下回った状況を説明。岩見沢東高では3年連続で欠員が生じ、入学者の学力差が拡大していることを指摘し、理解を求めた。

13人の委員からは、「職業高校と普通科を一緒に議論するのは数の論理でしかない」「入り口を狭めるのが必ずしも良いことではない」など懸念の声が上がった。配置計画案は25～28年度の見通しとして、岩見沢市内の公立高校の再編を含めたさらなる検討が必要としており、「24年度で削減するのは性急すぎる」との指摘もあった。

道教委はまた、難関大学の進学者数が伸び悩むなど岩見沢東高の課題の解消に、特別クラスの編成や地域教育資源活用といった魅力向上案を紹介。委員からは「素晴らしい提案で、実現するためにも24年度（での削減）と言わず時間が欲しい。道教委と同じベクトルで進めばいい学校づくりができる」といった意見が出されていた。

（浦崎竜馬）

クマ目撃 管内相次ぐ

三笠　民家の近くで多発

赤平　同一個体の可能性

芦別　パークゴルフ場で

5日にクマが目撃された付近に三笠市が設置した注意を呼び掛ける看板

【三笠、赤平、芦別】空知管内で4日から5日にかけて、クマの目撃が相次いだ。岩見沢署によると、三笠では5日午前2時50分ごろ、幌内住吉町で民家から約20㍍の市道で新聞配達の男性が目撃。三笠市によると、今年は同日までに17件と昨年同期比で5件多く、例年より民家近くでの目撃が増えているという。

クマの目撃は2018年度11件、19年度15件、20年度23件。今年は既に17件で、このうち5日までの1週間で8件を占める。市は現場近くに看板を設置し、同署や猟友会と協力してパトロールした。

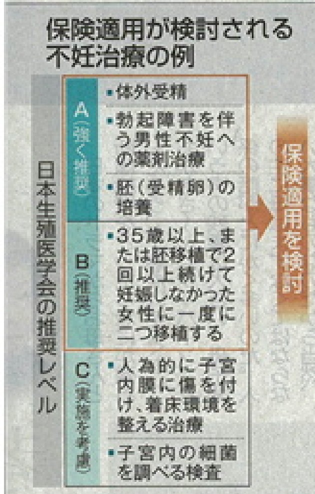
赤平市内では4日夕方から5日午後6時までに、公園「独歩苑」（市茂尻元町北6）から新歌志内トンネル入り口（市赤平）までの道道付近で7件の目撃情報があった。4日は午後4時以降に3件。5日は午前中に2件寄せられ、午後5時15分にバス停「春光台」付近の道道、午後6時にバス停から数百㍍の路上でそれぞれ目撃された。いずれも1頭で体長約1㍍。赤歌署は同一個体の可能性もあるとして注意を呼びかけている。

芦別では5日午前9時20分ごろ、市旭町油谷の芦別温泉パークゴルフ場内に1頭がいるのを、付近を車で走行中の女性が目撃、芦別署に通報した。同署と芦別市によると、クマは営業中のパークゴルフ場から走り去ったという。市は当面利用を休止した。

体外受精を保険適用

政府方針　来年4月から

保険適用が検討される不妊治療の例



日本生殖医学会の推奨レベル	
A（強く推奨）	▪体外受精 ▪勃起障害を伴う男性不妊への薬剤治療 ▪胚（受精卵）の培養
B（推奨）	▪35歳以上、または胚移植で2回以上続けて妊娠しなかった女性に一度に二つ移植する
C（実施を考慮）	▪人為的に子宮内膜に傷を付け、着床環境を整える治療 ▪子宮内の細菌を調べる検査

保険適用を検討

政府は5日までに、不妊治療のうち体外受精などを来年4月から公的医療保険の適用対象とする方針を固めた。日本生殖医学会が6月に公表したガイドラインの推奨度を参考にする。厚生労働省は今月中にも中央社会保険医療協議会（厚労相の諮問機関）で議論を始め、年末までに保険適用の範囲を決める見通し。

ガイドラインは、一般的に行われている治療法や検査について、推奨レベルを3段階で評価。厚労省はそのうちレベルA「強く推奨」と、B「推奨」とされた項目を保険適用する方向で検討している。

レベルAには体外受精のほか、勃起障害のある男性に対する薬剤治療、胚（受精卵）の培養などが挙げられている。

Bには35歳以上の女性や、胚移植で2回以上続けて妊娠しなかったケースで一度に二つ移植するといった項目がある。

一方、推奨度が最も低いC「実施を考慮」の項目は、科学的根拠が明確でないため自由診療に据え置かれる可能性が高い。ただし一部は、保険診療と併用できる「先進医療」に位置付け、有効性や安全性を検証する。

保険適用が決まった治療や検査は、来年2月ごろに具体的な公定価格が決まる。

不妊治療は現在、一部を除き保険適用外で、国や自治体の助成以外は全額自己負担。保険が適用されると、原則3割負担となる。不妊治療への保険適用は、菅義偉首相が来年4月に実現させる方針を示していた。

転校した小学校にはなかった…

野球チーム 自ら結成

岩見沢第二小・井筒君　友人らに声掛け

【岩見沢】4月に神戸市から第二小に転校してきた4年の井筒風太君（9）が、友人らと少年野球チーム「岩見沢オニオンズ」を結成した。同校にチームはなく、他のチームに入っても練習日が多く親の送迎が大変で、自らチーム結成を思い立った。井筒君は「試合に出て勝てるチームにしたい」と意気込んでいる。

少年野球チーム「岩見沢オニオンズ」を結成した井筒風太君

オニオンズの練習は毎週木曜日と隔週の週末、市内の公園で、同校と志文小の4～6年生9人が「うまい」「ナイス」と声を掛け合いながら練習に励んでいる。メンバーは、井筒君のクラスメートや、子どもに遊び場を提供している岩見沢プレーパーク研究会のイベントに参加している児童ら。井筒君は「みんな練習を頑張っていて、いいチームになりそう」と期待を込める。

（石川実和）

親の送迎負担減へ練習日絞る

小学2年から神戸市の少年野球チームに所属していた井筒君は、母親の祐季さんが岩見沢市の地域おこし推進員をしていた縁もあり、家族で岩見沢に移住した。神戸のチームメートから「北海道でも野球頑張れよ」との手紙をもらい、第二小の野球チームに入るつもりだったが、チームはすでに解散しており、近隣の他チームの練習へ行くのも親の送迎が必要だった。

「なんとか親が送迎できる頻度で練習ができないか」。思いついたのが新チームの創設だった。岩見沢の特産がタマネギということを調べてチーム名を決定。黄色とオレンジ色を差し色にしたユニホームのデザイン画などをコピー用紙に描き、クラスメートなどを勧誘した。

指導役は、野球経験がある父親の耕平さんや、道教大岩見沢校の卒業生ら。野球連盟に加盟していないため当面試合の予定はないが、井筒君は「チームワークがいいチームにして、試合に出たらたくさん点をとりたい」と将来の試合出場を楽しみにしている。

バリアフリー計画作成18%

全国自治体

ノウハウや予算不足　町村に遅れ

[illegible]

水道運営権 民間に売却

宮城県　全国初　値上げ抑制狙う

[illegible]

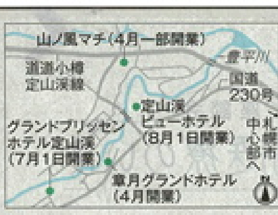
定山渓 開業・改装続々

温泉付き客室■初の複合商業施設

札幌市南区の定山渓温泉で今年、ホテルや商業施設などの開業が相次いでいる。多くは新型コロナウイルス禍の前から予定されていたものだが、客足の減少に悩むホテル側からは「今後の観光シーズンの集客の弾みになれば」と期待の声も上がる。

ハマノホテルズ（札幌）は1日、定山渓グランドホテル瑞苑の跡地に「グランドブリッセンホテル定山渓」（68室）を開業した。

同社は「今後は外国人客を含め個人旅行志向が強まる」として温泉付き客室を充実させ、予約は公式サイトとオンライン旅行会社（OTA）のみで受け付ける。7月の週末はほぼ満室だが8月は多少空きがあるという。


山ノ風マチ（4月一部開業）
道道小樽定山渓線
豊平川
国道230号
定山渓ビューホテル（8月1日開業）
グランドブリッセンホテル定山渓（7月1日開業）
章月グランドホテル（4月開業）
札幌市中心部へ

リニューアルオープンした章月グランドホテルのラウンジ

通販大手ベルーナ（埼玉）は、休館中だった「定山渓ビューホテル」（647室）をカラカミホテルズアンドリゾート（札幌）から買収し、8月1日に再開予定。ロビーや売店、プールの一部を改装する。

野口観光グループの章月グランドホテル（50室）は昨年11月以降、半年間の休業中に客室の拡張やラウンジの改装などを行い今年4月に再開業した。第一寶亭留（札幌）が計画する定山渓初の複合商業施設「山ノ風マチ」は4月に第1弾のパン店をオープンし、22年の全面開業に向けて準備している。

定山渓全体の6月の宿泊客数はコロナ前の約3分の1にとどまるなど影響は長引いている。老舗の定山渓ホテル（190室）が5月から休館し、同月開業予定だった共立メンテナンス（東京）の和風リゾートホテルもめどが立っていない。

定山渓観光協会は「コロナも落ち着きつつあり、徐々に客数は回復するはず。（開業や再開で）客室数が増えるのはありがたい」としている。

（堀田昭一）